

# ミニディスクロージャー誌

平成20年3月期・営業のご報告

MINI DISCLOSURE

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ°

HokuHoku Financial Group, Inc.



地域とあなたのために、  
もっと。

Hokuhoku Financial Group



 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

 北陸銀行

 北海道銀行

広域ネットワークを活かし、地域のお客さまの利便性をさらに向上させる体制づくりやお客さまの声をしっかり捉えた質の高い金融サービスで、地域とお客さまのための「もっと」を実現させてまいります。

## ごあいさつ

皆さまには、日ごろより当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。  
とございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌（平成20年3月期・営業のご報告）」をお届けいたします。

本誌では、当社の平成19年度の業績や取り組みなどについてご紹介しております。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

当社グループでは、平成19年8月に公的資金を一部返済いたしました。この間お客さまや株主の皆さまのご理解とご支援をいただいたことに厚く御礼申し上げます。

今後ともさらなる経営努力を続け、経営理念であります「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展し、公的資金の早期返済をめざしてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月



取締役社長

高木 繁雄

(北陸銀行 頭取)

取締役副社長

堰 八 義博

(北海道銀行 頭取)

## C O N T E N T S

ごあいさつ	02	地域とともに(北海道銀行)	13	株式の状況／経営理念	
業績ハイライト	03	財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ単体)	17	株式の状況	21
グループの概要	07	財務諸表(ほくほくフィナンシャルグループ連結)	18	経営理念・ホームページのご案内	22
地域とのかかわり	08	財務諸表(北陸銀行単体)	19		
地域とともに(北陸銀行)	09	財務諸表(北海道銀行単体)	20		

### ■ 営業の概況<ほくほくフィナンシャルグループ連結>

(単位:億円)

	19年度		18年度
		前年比	
経常収益	2,612	189	2,422
経常利益	663	△37	700
当期純利益	386	△20	406
自己資本比率	10.39%	△0.05%	10.44%

### ■ 営業の概況<北陸銀行・北海道銀行>

(単位:億円)

	2行合算+分割子会社		
	19年度	前年比	18年度
経常収益	2,376	186	2,190
コア業務粗利益	1,789	△29	1,818
経費(臨時処理分を除く)	899	19	880
コア業務純益	889	△48	938
与信費用	247	△8	256
経常利益	662	△42	704
当期純利益	402	4	397
不良債権比率	3.64%	△0.79%	4.43%

(単位:億円)

	北陸銀行+分割子会社		
	19年度	前年比	18年度
経常収益	1,415	109	1,305
コア業務粗利益	1,056	△14	1,071
経費(臨時処理分を除く)	511	5	505
コア業務純益	545	△20	565
与信費用	196	△23	220
経常利益	367	△17	385
当期純利益	223	33	189
不良債権比率	3.72%	△0.93%	4.65%

(単位:億円)

	北海道銀行		
	19年度	前年比	18年度
経常収益	960	76	884
コア業務粗利益	732	△14	747
経費(臨時処理分を除く)	388	14	374
コア業務純益	344	△28	372
与信費用	51	15	36
経常利益	294	△24	319
当期純利益	178	△29	207
不良債権比率	3.52%	△0.56%	4.08%

当社における当連結会計年度の業績につきましては、連結経常収益は前連結会計年度比189億円増加し2,612億円、連結経常利益は前連結会計年度比37億円減少し663億円、連結当期純利益は前連結会計年度比20億円減少し386億円となりました。

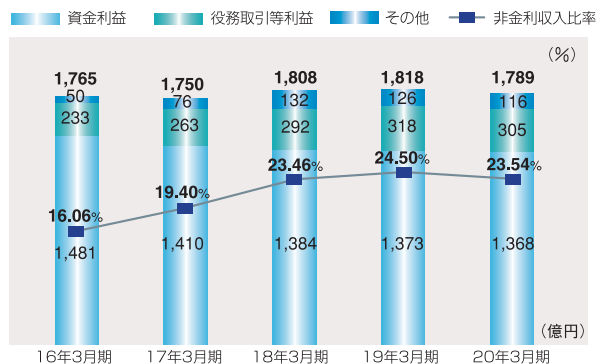
連結自己資本比率は前連結会計年度末比0.05%低下し10.39%となりました。

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益や金融派生商品収益が減少したこと、またシステム投資等により経費が増加したことから、前期比48億円減少の889億円となりました。

経常利益は、与信費用が減少したものの、株式相場の下落により株式等損益が悪化したことから、前期比42億円減少の662億円となりました。当期純利益は、法人税等調整額が減少したことから、前期比4億円増加の402億円となり、過去最高を更新いたしました。

## 業績ハイライト

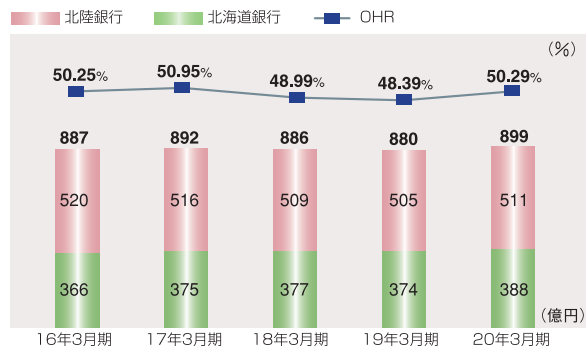
## ■ コア業務粗利益&lt;2行合算+分割子会社&gt;



コア業務粗利益は、役務取引等利益や金融派生商品収益が減少したことから、前期比29億円減少の1,789億円となりました。

- コア業務粗利益＝資金利益＋役務取引等利益＋その他  
一般の企業で言う「売上総利益」に相当する概念で、銀行の本業におけるおおもとの利益、銀行が創造する価値の源泉です。
- 資金利益・・・貸出金、預金、有価証券等の利息収支等。
- 役務取引等・・・投資信託、保険の取扱手数料等。
- その他・・・外国為替売買益やデリバティブ収益等。
- 非金利収入比率・・・コア業務粗利益のうち、資金利益以外が占める割合。

## ■ 経費&lt;2行合算+分割子会社&gt;

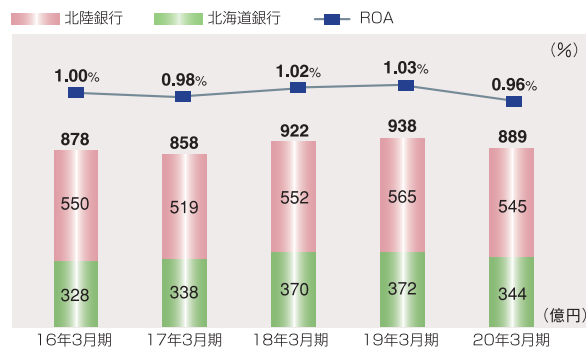


経費は、システム投資等により、19億円増加の899億円となりました。

OHRは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- 経費＝人件費＋物件費＋税金  
一般の企業で言う「販売費及び一般管理費」に相当します。
- OHR＝経費÷コア業務粗利益  
少ない経費でいかに多くの利益をあげているかを示す指標で、数値が低いほど効率的です。

## ■ コア業務純益&lt;2行合算+分割子会社&gt;

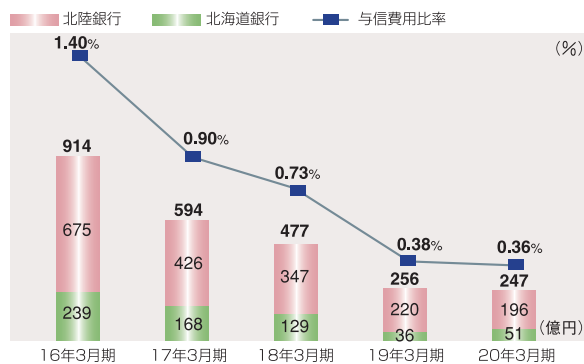


コア業務純益は、粗利益の減少、経費の増加により、前期比48億円減少の889億円となりました。

ROAは地銀トップクラスの水準を維持しております。

- コア業務純益＝コア業務粗利益－経費  
一般の企業で言う「営業利益」に相当し、銀行の本業の成果を示したもので、銀行特有の指標です。
- ROA＝コア業務純益÷総資産(期中平均)  
資産をいかに有効に活用して利益を上げているかを示す指標で、数値が高いほど効率的です。

## ■ 与信費用&lt;2行合算+分割子会社&gt;



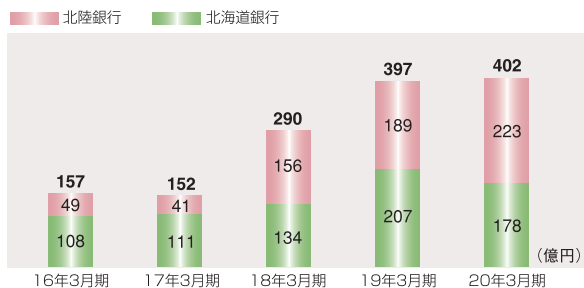
与信費用は、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進んだことから、前期比8億円減少の247億円となりました。

■ 与信費用 = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額

■ 与信費用比率 = 与信費用 ÷ 貸出金平残

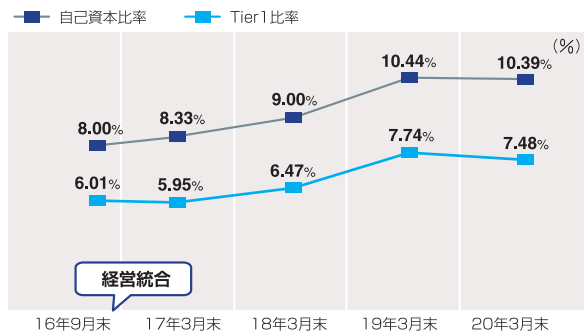
与信費用と貸出残高とを対比した指標で、数値の低下は、不良債権処理の進展に伴い資産の健全化が進んでいることを示しています。

## ■ 当期純利益&lt;2行合算+分割子会社&gt;



当期純利益は、前期比4億円増加の402億円となり、過去最高を更新いたしました。

## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;



自己資本比率は、利益を着実に積み上げる一方、公的資金の一部返済(350億円)を実施した結果、前期末比0.05%低下し、10.39%となりました。

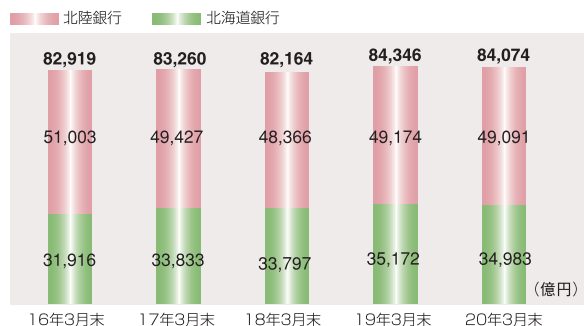
■ 自己資本比率…自己資本(資本金や利益の蓄積等)が資産に比べてどの程度充実しているかを示します。この比率が高いほど安全性・健全性が高いといえます。

■ Tier1比率…リスク・アセット(貸出金等の資産)に対するTier1(自己資本の基本的項目である資本金・資本剰余金・利益剰余金等)の割合を示したもので銀行の本質的な健全性を示すものです。

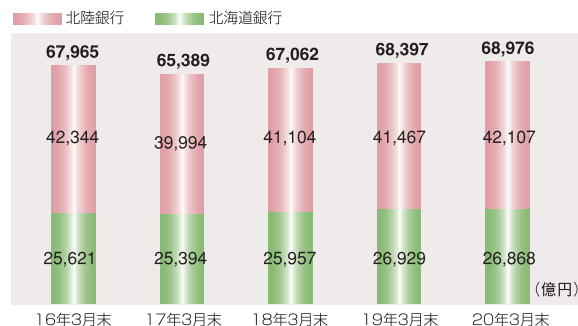
※平成19年3月から自己資本比率算出について新しい基準(バーゼルⅡ)を適用しております。平成18年3月以前は旧基準により算出しております。

## 業績ハイライト

## ■ 預金&lt;2行合算&gt;

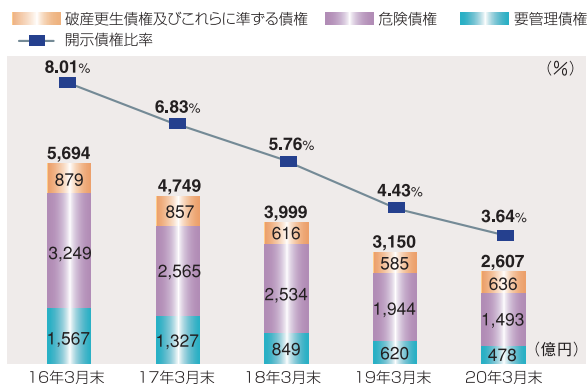


## ■ 貸出金&lt;2行合算+分割子会社&gt;



※北陸銀行では、従来、RMBS(住宅ローン信託受益権等)を「貸出金」に含めておりましたが、17年度から「買入金銭債権」に含めており、過年度との比較のため、RMBSを控除した計数を記載しております。

## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算+分割子会社&gt;



金融再生法開示債権は、前期末比542億円減少し、2,607億円となりました。開示債権比率は、前期末比0.79%低下し、3.64%となりました。

■金融再生法開示債権・・・金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく基準により、貸出金等の分類を公表しています。

■開示対象債権・・・貸出金及び支払承諾見返、外国為替、未収利息、仮払金、貸付有価証券、自行保証付私募債。但し、要管理債権は貸出金、自行保証付私募債のみ。

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産、会社更生等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権のことです。

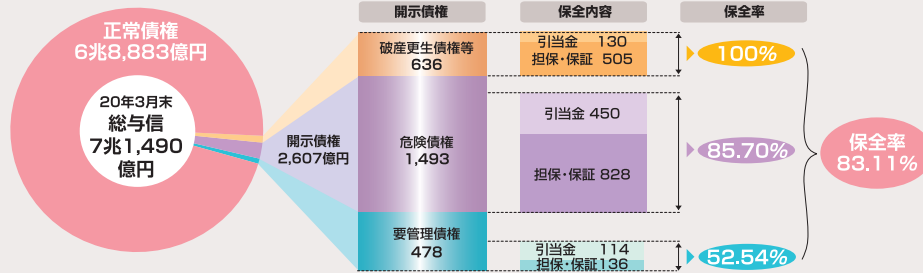
■危険債権・・・お取引先が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権のことです。

■要管理債権・・・3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権(「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」を除く)のことです。

■開示債権比率・・・総与信に占める金融再生法開示債権の割合を示しています。この比率が低いほど健全性が高いといえます。

## 不良債権への備え

金融再生法開示債権2,607億円のうち、1,470億円は担保・保証、696億円は貸倒引当金によりカバーされており、保全率は83.11%と十分な引当・保全状況を維持しております。



## グループの概要 (平成20年3月末現在)

## ほくほくフィナンシャルグループ

銀行持株会社



Hokuhoku  
Financial  
Group, Inc.

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
- 業務の内容 1.傘下子会社の経営管理  
2.上記経営管理業務に付帯または関連する業務

- 資本金 708億9,500万円
- 発行済株式
 

普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	80,000,000株
第1回第4種優先株式	79,000,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株

### ●取締役・監査役の役職および氏名 (平成20年6月末現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	高木 繁雄	取締役	相馬 彰彦
取締役副社長	堰八 義博	取締役	大島 雄次
取締役	川合 哲	監査役	河上 敏嗣
取締役	近藤 政道	監査役	南 義弘
取締役	羽岡 秀晃	監査役	石黒 靖尋
取締役	徳野 光宏	監査役	林 則清

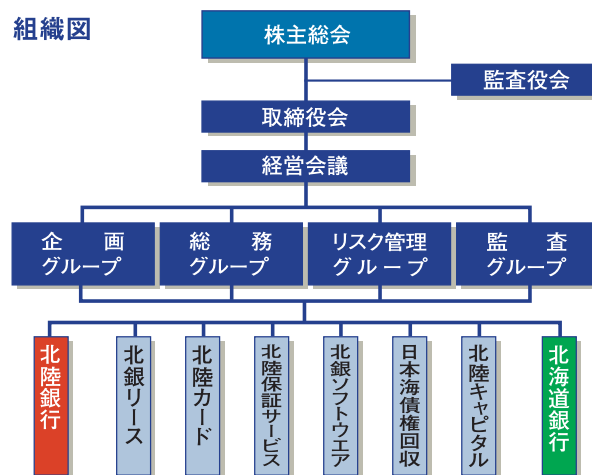
- 従業員の数 専任者12名、兼務者42名、計54名
- 設立日 平成15年9月26日
- 各組織の構成および役割等

取締役会 グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。

監査役会 監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。

経営会議 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、一般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

### 組織図



### グループ各社の内容

- (株)北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、
- (株)北海道銀行 総合金融サービスの提供を行ってまいります。
- 北銀リース(株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株)北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス(株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア(株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- 日本海債権回収(株) グループ全体の不良債権の早期処理および地域の企業再生支援に係る業務などを行っております。
- 北陸キャピタル(株) 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。

## 地域とのかかわり グループの広域ネットワーク

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

## ほくほくフィナンシャルグループ

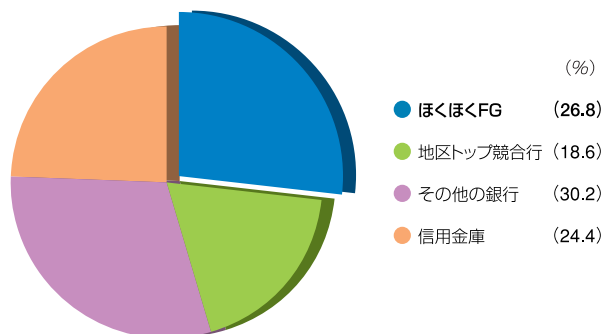
北陸3県	147か店	3大都市	17か店
富山県	90か店	東京・神奈川	10か店
石川県	35か店	近畿・名古屋	7か店
福井県	22か店		
北海道	152か店		
その他	4か店		



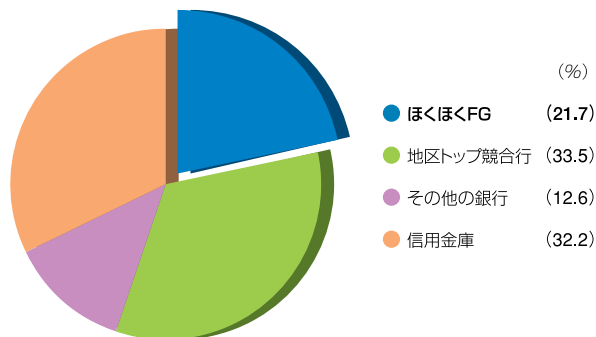
### 海外

上海駐在員事務所  
瀋陽駐在員事務所  
シンガポール駐在員事務所  
ニューヨーク駐在員事務所  
(平成20年3月末)

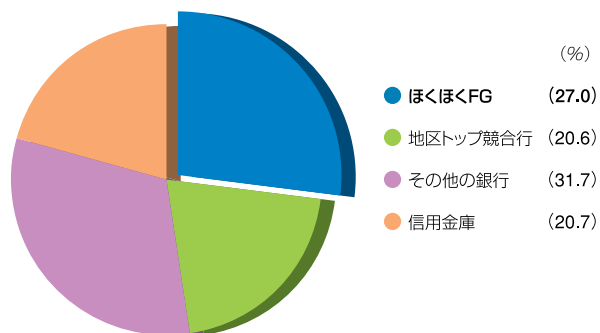
### ■ 北陸三県内預金シェア (銀行+信用金庫)



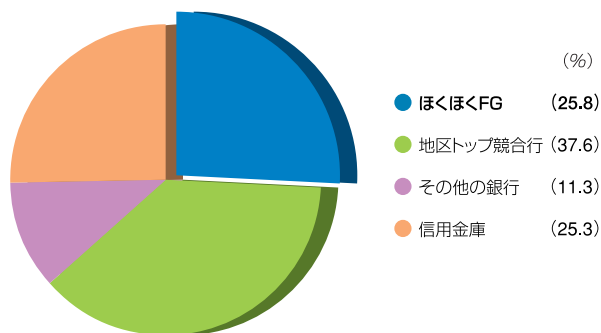
### ■ 北海道内預金シェア (銀行+信用金庫)



### ■ 北陸三県内貸出金シェア (銀行+信用金庫)



### ■ 北海道内貸出金シェア (銀行+信用金庫)

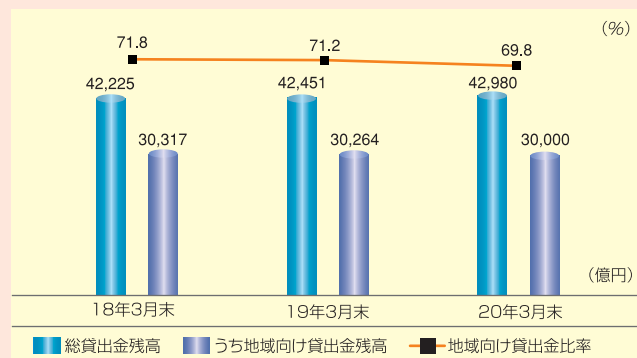


## 貸出金の状況

(注)「地域」とは、北陸銀行の主要営業基盤地域である北陸三県（富山、石川、福井）および北海道を指します。

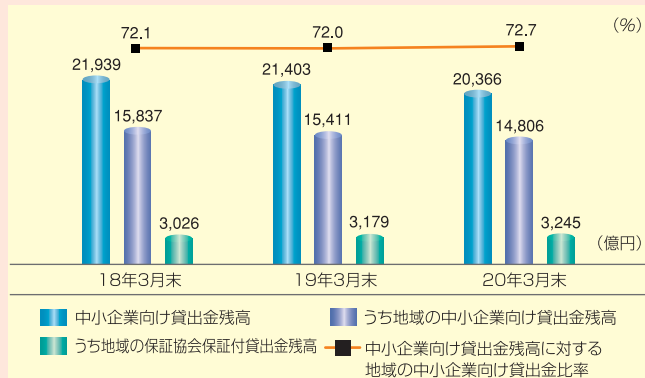
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は3兆円と前期とほぼ同水準の残高であり、地域向け貸出金比率は69.8%となっております。



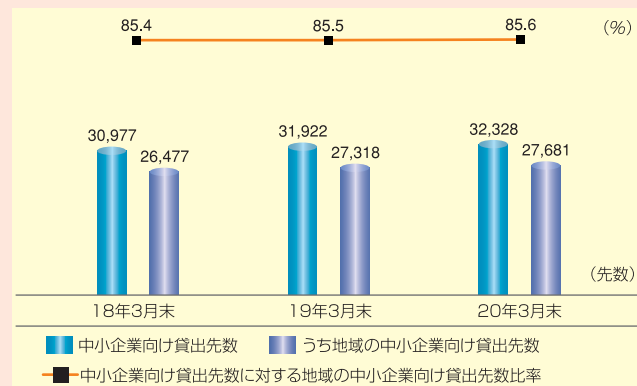
## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は2兆366億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆4,806億円と中小企業向け貸出金の72.7%を占めております。

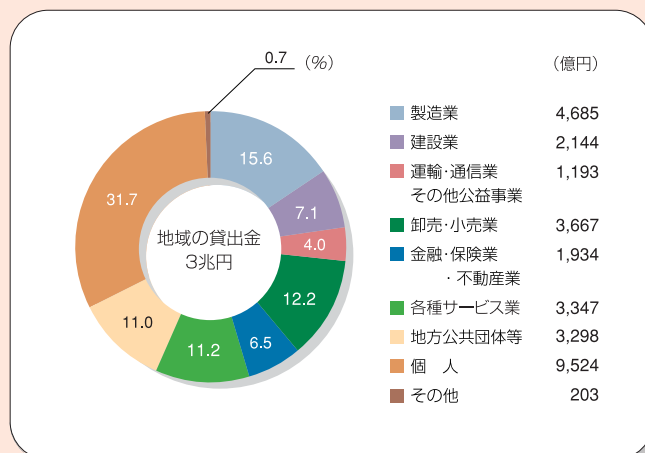


## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は32,328先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は27,681先と85.6%を占めております。



## ■ 地域の業種別貸出残高(平成20年3月末)



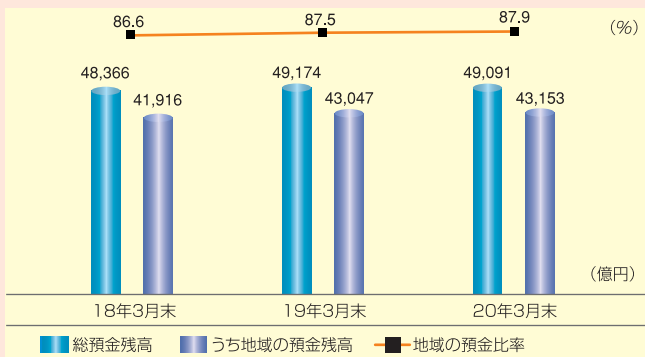
(注1) 分割子会社の計数を含んでおります。

(注2) 流動化した住宅ローンを含めた計数で記載しております。

## 預金等の状況

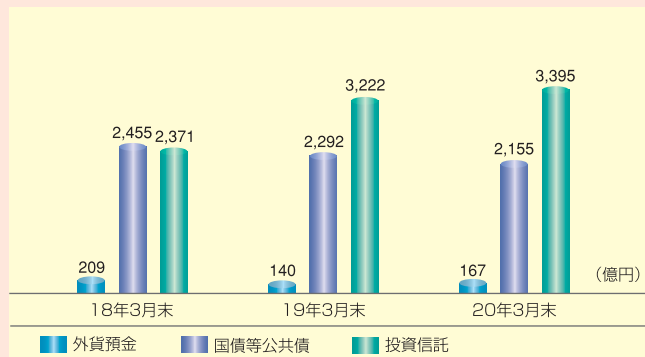
### ■ 地域の預金の状況

総預金は4兆9,091億円、うち4兆3,153億円が地域の預金で、総預金の87.9%を占めております。



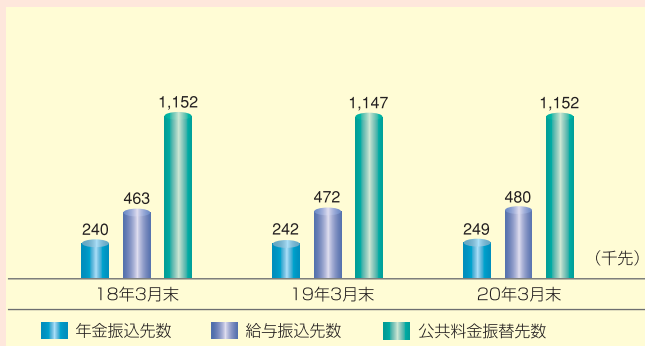
### ■ 投資型金融商品の状況

商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めた結果、20年3月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は5,718億円となっております。



### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は24万9千先、給与振込は48万先、公共料金の自動口座振替は115万2千先と多くのお客さまに家計のメイン口座として北陸銀行をご利用いただいております。



### ● お客さまのご要望にお応えできる「資産運用セミナー」開催

北陸銀行では、お客さまのさまざまな資産運用ニーズにお応えする幅広い商品ラインアップを充実させるとともに、お客さまの運用資産や投資方針に応じ、商品説明を丁寧に行っております。また、お客さまのご要望に的確にお応えできるようファイナンシャルプランナー資格者を営業店へ配置するとともに、各地で「資産運用セミナー」を開催しております。



資産運用セミナー風景 (ドリームセンター武蔵)

## 1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取り組み
創業、新事業支援	・産学連携相談シートを活用し、共同研究開始に向け詳細なテーマを擦り合わせ中 ・産学官との連携を通じた技術移転支援:各種新技術発表会(説明会)を後援
経営改善支援	・ビジパセミナー、グローバルセミナー、インフォーマットセミナー等各種相談会の開催およびコンサルティング機能の発揮による事業支援
事業再生	・企業支援タスクフォースを中心とした経営改善計画の策定支援、事業再生ファンドの活用、中小企業支援協議会等と協調した事業再生支援への取組強化
事業継承	・プライベートバンキング機能の活用をはじめとしたコンサルティング機能を発揮した事業承継支援

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
債務者区分ランクアップ件数	60件	42件	60件

## 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取り組み
担保、個人保証に依存しない融資の推進	・債権流動化プログラムの活用、「営業車担保ローン」・「機械担保融資保証制度」等による動産、債権譲渡担保付き融資の取り組み
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み	・融資部トレニー、融資判断力養成研修をはじめとした行内外の研修を通じた人材の育成

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
債権流動化、動産、債権譲渡担保付き融資実績	10件	42件	40件
研修受講者数(融資審査関連)	300人	344人	350人

## 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取り組み
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取り組み	・グループの北海道銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行や業務提携を行う大垣共立銀行等との広域連携による顧客僚店貢献運動、ビジネスマッチングへの取組強化 ・ビジネスサミットをはじめとする商談会等の開催 ・地方公共団体との連携を密にしたPFI、ものづくり支援等の地域振興施策への積極的参加
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・寄付講座、次世代経営者養成講座、小中学生向け金融教育等への講師派遣等を通じた地域を担う若い世代への金融知識の普及

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
「顧客僚店貢献運動」取組件数	24,000件	30,514件	30,000件
各種研修講師派遣	150件	175件	150件

## TOPICS



### 19年11月「めぞう世界文化遺産」 応援広告を設置

高岡開町400年に合わせ、「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を応援する広告を高岡支店の壁面に設置しました。「高岡の宝を世界の遺産へ」を合い言葉に、地域一丸となって世界文化遺産登録を目指す地域運動を応援してまいります。

### 20年2月 富山金融歴史資料館を リニューアルオープン

18年8月本店営業部ロビーに開設した金融歴史資料館を増設し、展示点数を約100点に増やしました。金沢第十二銀行、富山第二百二十三銀行の資料から棟方志功の版画カレンダーまで、往時の銀行が偲ばれるものから芸術的価値のあるものまで、幅広く展示しております。入場は無料ですので、どなたでも気軽に地域の金融史を振り返れる産業観光スポットになればと期待しております。

### 3月 エコキャンペーンを実施

4月からの富山県内でのレジ袋有料化を前に、王理恵さん選定の「マイエコバッグ」を配布する地球環境に優しい「エコキャンペーン」を実施しました。北陸・北海道の風景を3色のバックに表し、「ずっと伝えたい、風景があります」というキャッチコピーで地球環境に優しいエコバッグ普及活動を応援しております。



### 3月

7月の東海北陸自動車道の全線開通を前に、3月22日、23日の両日、北陸3県と岐阜県の特産品や郷土芸能を紹介し、地域の魅力を発信するイベント「東海北陸地方交流 物産セレクション2008 in TOYAMA」を富山市総曲輪のグランドプラザで開催しました。「物産セレクション」は、北陸銀行の創業130周年記念事業の一環であり、沿線自治体や企



業が約60のブースを設け、特産品の販売や観光PRを行うなど多彩な催しを繰り広げ、大勢の来場者で賑わいました。

### 6月

富山市中心商店街活性化・街中にぎわい事業の一環として、富山市中心通りセプラビル3Fに富山県射水市出身の立川志の輔さんプロデュースによる演芸ホール「ほくほくスペースてるてる亭」をオープンしました。今春、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞された立川志の輔さんには「てるてる亭」の番頭さん役を買って出いただき、富山県で初めての演芸専門ホールとして定期的に落語会等を開催し、富山に笑いの空間を提供してまいります。

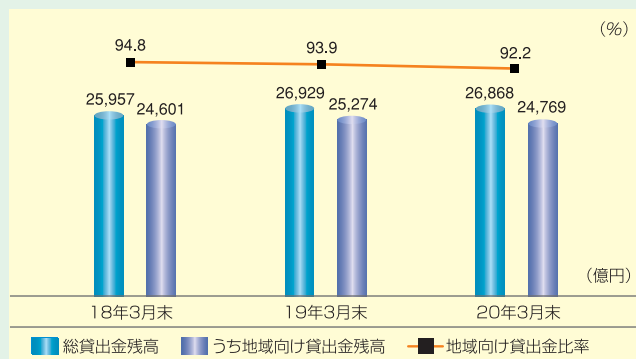


## 貸出金の状況

(注)「地域」とは、北海道銀行の主要営業基盤地域である北海道を指します。

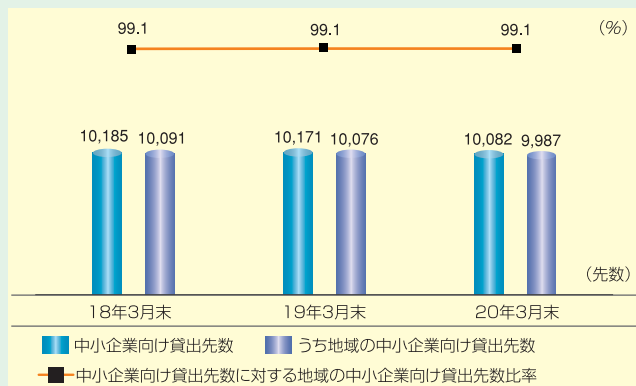
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、2兆4,769億円となりました。地域向け比率は92.2%と引き続き高い水準となっております。



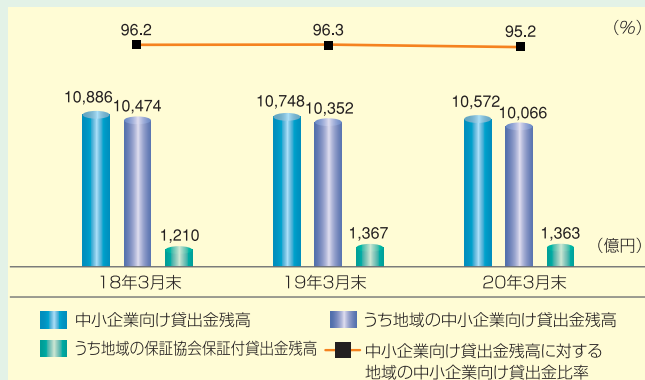
## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は10,082先で、そのうち地域の中小企業向けは9,987先となっております。

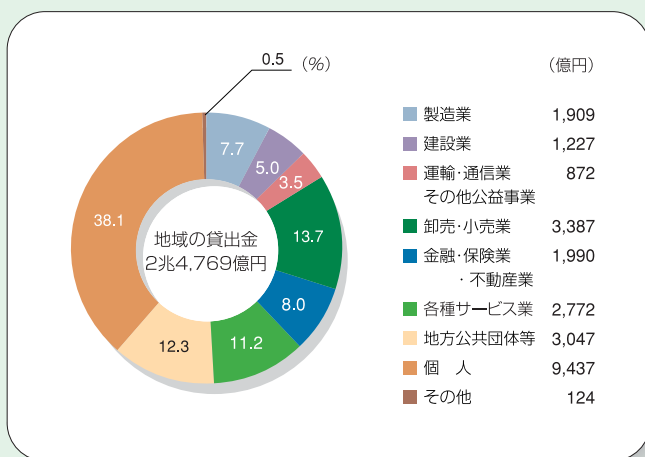


## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆572億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆66億円となっており、地域向け比率は約95%と地域のお客さまの資金需要に積極的にお応えしています。



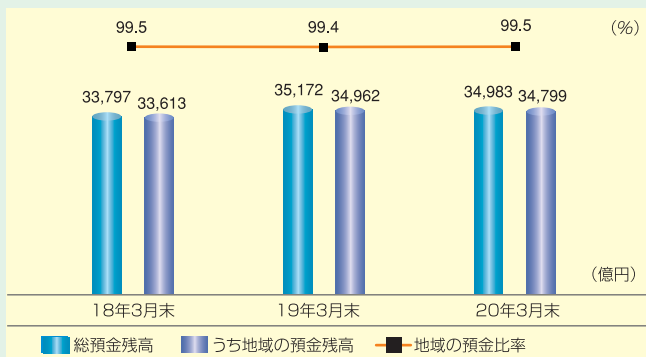
## ■ 地域の業種別貸出残高(平成20年3月末)



## 預金等の状況

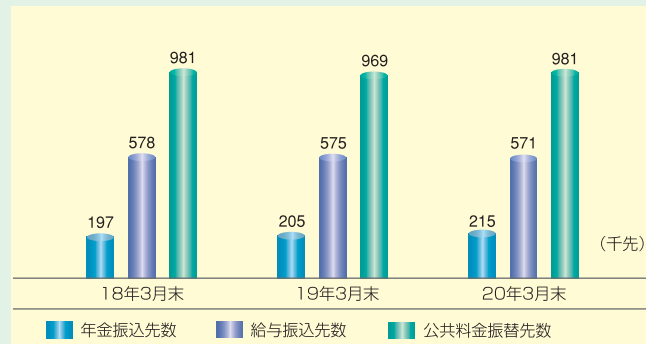
### ■ 地域の預金の状況

総預金は3兆4,983億円となりました。うち3兆4,799億円が地域の預金で、総預金の99.5%を占めております。



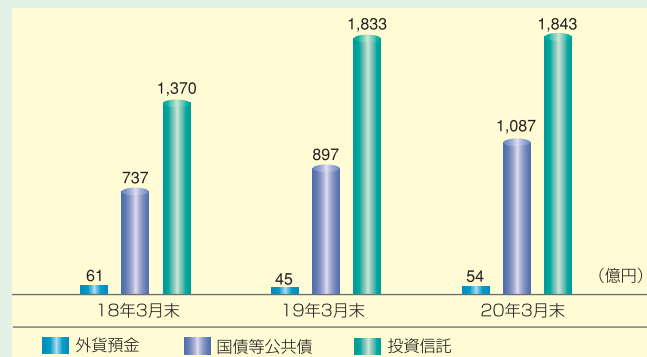
### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は21万5千先、給与振込は57万1千先、公共料金の自動振替は98万1千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



### ■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、平成20年3月末で2,985億円となりました。このうち投資信託は、前年比約10億円増加し1,843億円となっております。



### ● ジャンボ宝くじ付き定期預金で1等前後賞3億円が当せん

平成16年または平成18年の「年末ジャンボ宝くじ付き定期預金」にお申し込みいただいたお客さまの中から、第532回全国自治宝くじ（年末ジャンボ宝くじ）において1等前後賞合わせて3億円の当せん者が誕生いたしました。



ジャンボ宝くじ付き 定期預金

北海道銀行の「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、あらたな定期預金（スーパー定期、大口定期）のお預け入れ200万円ごとに、お預け入れ期間中毎年、10枚連番のジャンボ宝くじをご自宅に郵送するものです。本年も3月3日から5月30日まで「サマージャンボ宝くじ付き定期預金」をお取り扱いし、大変ご好評をいただきました。

## 1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取り組み
創業、新事業支援	・ベンチャー向けファンド(どさんこファンド)を活用した創業、新規事業者への投資 ・産学官との連携等を通じた技術移転等による支援
経営改善支援	・道銀・経営塾、ものづくり講習会等の開催など各種相談会、セミナーの開催およびコンサルティング機能の発揮による事業支援
事業再生	・外部機関との連携によるコンサル相談会の開催など経営改善計画の策定支援、中小企業支援協議会などと協調した事業再生支援への取組強化
事業継承	・プライベートバンキング機能の活用をはじめとしたコンサルティング機能を発揮した事業承継支援

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
ベンチャー向け投資実績	10件/300百万円	10件/396百万円	10件/300百万円
債務者区分ランクアップ件数	60件	55件	40件

## 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取り組み
担保、個人保証に依存しない融資の推進	・債権流動化プログラムの活用、動産、売掛債権、債権譲渡担保付き融資への取り組み
企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み	・業種別審査の拡大・細分化と業種別研修会の実施による審査能力の向上 ・若手・中堅・役所者向け階層別研修会の実施による人材の育成

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
スコアリングモデルを活用した融資実績	700件 5,500百万円	914件 7,143百万円	900件 7,000百万円
債権流動化、動産、債権譲渡担保付き融資実績	5,000百万円	13,931百万円	15,000百万円
研修受講者数(融資審査関連)	370人	377人	300人

## 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取り組み
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一時的な「面」的再生への取り組み	・グループの北陸銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行など広域連携によるビジネスマッチングへの取組強化 ・グループの海外ネットワーク(中国、シンガポール、米国)を活用した情報提供 ・北海道ビジネスフォーラム、北海道「食」の特別商談会等の商談会等の開催 ・道銀アグリパートナーズ等の活用、PFI、ものづくり支援等の地域振興施策への積極的参加
地域活性化につながる多様なサービスの提供	・道内大学等への講師派遣、小学生向け企画への参加(こどものまちミニさっぽろ等)などを通じた地域を担う若い世代への金融知識の普及

### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標	19年度実績	20年度目標
ビジネスマッチング取組件数	800件	993件	600件

## TOPICS

## 19年11月「地域金融セミナー」開催

11月20日、北海道内の信用金庫、信用組合の皆さまを対象に「地域金融セミナー」を開催いたしました。当日は、金融商品取引法施行後の留意点、金融機関経営とコンプライアンス、北海道銀行の業務合理化・効率化をテーマとした講演が行われ、信用金庫、信用組合の経営者をはじめ41名の方々にご参加いただきました。



## 20年3月 ビジネスマッチング in 瀋陽

3月6日、北海道銀行が駐在員事務所を置く中華人民共和国瀋陽市において、北海道内のお客さまと現地企業との商談会「ビジネスマッチングin瀋陽」を開催いたしました。3回目となる今回の商談会では、中国での販路拡大、部品や製品の調達によるコスト削減を目指す建設業、食品加工業を中心とした7社のお客さまにご参加いただきました。



## 4月 新ステップDoの取扱開始

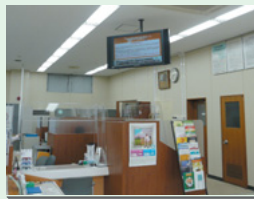
4月1日より道銀取引優遇サービス「新ステップDo」および「Doポイントクラブ」の取り扱いを開始いたしました。「新ステップDo」は、平成10年に開始した「ステップDo」を大幅にリニューアルしたもので、従来のファーストステップからサードステップに加え新たにゴールドステップをご用意したほか、対象となるお取引の条件を大幅に緩和し住宅ローンや投資信託等（残高条件あり）をご利用のお客さまもATM時間外手数料が無料になる等、優遇内容をさらに拡大しております。また、

ステップDoの各ランクに応じて毎月ポイントが付与される「Doポイントクラブ」は、JALマイレージバンクとのマイル交換はもちろん、地域に密着している道内企業とのポイント交換も可能とするなど魅力的なサービス内容となっております。



## マルチメディア情報システム「メディアDo」の運用開始

4月1日より全営業店においてマルチメディア情報システム「メディアDo」の運用を開始いたしました。この「メディアDo」では、営業店のロビーに液晶ディスプレイと音声スピーカーを設置し、商品・金利情報のほか、各種マーケット情報、ニュース等幅広い金融情報をお客さまにご提供するほか、自然災害等によるシステム障害発生の際にはリアルタイムで復旧見込み等をお客さまにお知らせすることが可能となります。



今後は店内・店外のATMコーナーに音声スピーカーを順次設置し、ATMご利用のお客さまにも商品情報等をお届けする予定です。

## サハリンに駐在員事務所開設を決定

北海道銀行はロシア連邦サハリン州ユジノサハリンスク市に、駐在員事務所を開設することを決定いたしました。国際的な大規模石油天然ガスプロジェクトが進められているサハリン州は経済発展が著しく、地理的にもっとも近い北海道とは様々な経済交流が活発化しつつあります。サハリン州に拠点を置くことにより同州をはじめロシア極東地区の生きた情報を道内のお取引先の皆さまにご提供する等、ロシアビジネスのご支援をさせていただくものです。なお開設時期はロシア連邦当局の認可を前提として平成20年度中を予定しております。

## 貸借対照表(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	10,100	流動負債	220
現金及び預金	8,768	預り金	2
前払費用	1	未払費用	80
未収収益	39	未払配当金	28
繰延税金資産	25	未払法人税等	105
未収還付法人税等	1,256	未払消費税等	2
その他	8	その他	0
固定資産	354,402	固定負債	40,022
有形固定資産	1	社債	40,000
器具及び備品	1	その他	22
無形固定資産	4		
商標権	1	負債の部合計	40,242
ソフトウェア	3	純資産の部	
投資その他の資産	354,395	資本金	70,895
関係会社株式	314,386	資本剰余金	242,133
関係会社長期貸付金	40,000	資本準備金	162,034
繰延税金資産	8	その他資本剰余金	80,098
その他	0	利益剰余金	11,617
		その他利益剰余金	11,617
		繰越利益剰余金	11,617
		自己株式	△386
		株主資本合計	324,259
		純資産の部合計	324,259
資産の部合計	364,502	負債及び純資産の部合計	364,502

## 損益計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

営業収益	8,032
関係会社受取配当金	7,349
関係会社受入手数料	683
営業費用	678
販売費及び一般管理費	678
営業利益	7,354
営業外収益	967
関係会社貸付金利息	950
その他の営業外収益	17
営業外費用	972
社債利息	858
創立費償却	15
事務委託費	99
その他の営業外費用	0
経常利益	7,348
税引前当期純利益	7,348
法人税、住民税及び事業税	314
法人税等調整額	△28
当期純利益	7,062

## 株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成19年3月31日残高	70,895	162,034	120,132	282,167	10,355	10,355	△413	363,004	363,004
事業年度中の変動額									
剰余金の配当	—	—	—	—	△5,801	△5,801	—	△5,801	△5,801
当期純利益	—	—	—	—	7,062	7,062	—	7,062	7,062
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△40,168	△40,168	△40,168
自己株式の処分	—	—	△18	△18	—	—	180	162	162
自己株式の消却	—	—	△40,015	△40,015	—	—	40,015	—	—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	△40,033	△40,033	1,261	1,261	27	△38,744	△38,744
平成20年3月31日残高	70,895	162,034	80,098	242,133	11,617	11,617	△386	324,259	324,259

## 財務諸表

ほくほくフィナンシャルグループ(連結) 第5期 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	282,827	預金	8,340,831
コールローン及び買入手形	81,521	譲渡性預金	94,793
買入金銭債権	185,898	コールマネー及び売渡手形	40,000
特定取引資産	7,952	債券貸借取引受入担保金	6,492
金銭の信託	7,277	特定取引負債	1,563
有価証券	1,661,169	借入金	225,762
貸出金	6,871,383	外国為替	270
外国為替	14,029	社債	66,500
その他資産	159,454	その他負債	154,373
有形固定資産	133,480	退職給付引当金	11,052
建物	37,552	偶発損失引当金	599
土地	62,924	睡眠預金払戻引当金	2,777
建設仮勘定	8	再評価に係る繰延税金負債	9,061
その他の有形固定資産	32,995	支払承諾	159,456
無形固定資産	42,025	負債の部合計	9,113,535
ソフトウェア	5,815	純資産の部	
のれん	35,437	資本金	70,895
その他の無形固定資産	771	資本剰余金	253,234
繰延税金資産	64,657	利益剰余金	125,950
支払承諾見返	159,456	自己株式	△421
貸倒引当金	△103,169	株主資本合計	449,658
		その他有価証券評価差額金	△4,722
		繰延ヘッジ損益	△16
		土地再評価差額金	8,918
		評価・換算差額等合計	4,179
		少数株主持分	590
		純資産の部合計	454,428
資産の部合計	9,567,964	負債及び純資産の部合計	9,567,964

## 連結損益計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

経常収益	261,257
資金運用収益	165,891
(うち貸出金利息)	(141,139)
(うち有価証券利息配当金)	(19,164)
役員取引等収益	47,275
特定取引収益	1,289
その他業務収益	34,491
その他経常収益	12,309
経常費用	194,940
資金調達費用	29,477
(うち預金利息)	(23,321)
役員取引等費用	11,209
その他業務費用	17,352
営業経費	96,743
その他経常費用	40,157
経常利益	66,317
特別利益	308
特別損失	3,622
税金等調整前当期純利益	63,002
法人税、住民税及び事業税	1,338
法人税等調整額	22,961
少数株主利益	62
当期純利益	38,640

財務諸表

## 連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	70,895	293,268	93,072	△447	456,788	26,078	△20	8,957	35,016	543	492,348
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△5,801	—	△5,801	—	—	—	—	—	△5,801
当期純利益	—	—	38,640	—	38,640	—	—	—	—	—	38,640
自己株式の取得	—	—	—	△40,168	△40,168	—	—	—	—	—	△40,168
自己株式の処分	—	△18	—	180	162	—	—	—	—	—	162
自己株式の消却	—	△40,015	—	40,015	—	—	—	—	—	—	—
土地再評価差額金の取崩	—	—	38	—	38	—	—	—	—	—	38
持分法適用会社の持分変動に伴う自己株式の増減	—	—	—	△1	△1	—	—	—	—	—	△1
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△30,801	3	△38	△30,836	46	△30,790
連結会計年度中の変動額合計	—	△40,033	32,878	26	△7,129	△30,801	3	△38	△30,836	46	△37,919
平成20年3月31日残高	70,895	253,234	125,950	△421	449,658	△4,722	△16	8,918	4,179	590	454,428

## 財務諸表

北陸銀行(単体) 第101期 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	189,431	預金	4,909,152
コールローン	30,519	譲渡性預金	46,600
買入金銭債権	185,805	コールマネー	40,000
特定取引資産	5,463	債券貸借取引受入担保金	6,492
有価証券	820,950	特定取引負債	1,566
貸出金	4,197,098	借入金	249,335
外国為替	8,385	外国為替	191
その他資産	81,848	その他負債	76,982
有形固定資産	65,732	退職給付引当金	285
無形固定資産	3,452	偶発損失引当金	270
繰延税金資産	42,780	睡眠預金払戻引当金	2,232
支払承諾見返	89,640	再評価に係る繰延税金負債	9,061
貸倒引当金	△51,084	支払承諾	89,640
投資損失引当金	△58		
		負債の部合計	5,431,811
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	71,645
		利益準備金	3,451
		その他利益剰余金	68,194
		繰越利益剰余金	68,194
		株主資本合計	227,054
		その他有価証券評価差額金	2,198
		繰延ヘッジ損益	△16
		土地再評価差額金	8,918
		評価・換算差額等合計	11,100
		純資産の部合計	238,155
資産の部合計	5,669,966	負債及び純資産の部合計	5,669,966

## 損益計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)(単位:百万円)

経常収益	141,215
資金運用収益	97,326
(うち貸出金利息)	(82,344)
(うち有価証券利息配当金)	(10,431)
役務取引等収益	25,082
特定取引収益	1,150
その他業務収益	8,342
その他経常収益	9,313
経常費用	105,610
資金調達費用	19,384
(うち預金利息)	(14,413)
役務取引等費用	6,584
その他業務費用	0
営業経費	50,784
その他経常費用	28,857
経常利益	35,604
特別利益	90
特別損失	2,414
税引前当期純利益	33,281
法人税・住民税及び事業税	201
法人税等調整額	11,852
当期純利益	21,227

## 株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金						
平成19年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	2,644	51,767	54,411	20,642	△23	8,957	29,577	239,397
事業年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	—	806	△4,839	△4,032	—	—	—	—	△4,032
当期純利益	—	—	—	—	21,227	21,227	—	—	—	—	21,227
土地再評価差額金の取崩	—	—	—	—	38	38	—	—	—	—	38
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	△18,443	6	△38	△18,476	△18,476
事業年度中の変動額合計	—	—	—	806	16,427	17,233	△18,443	6	△38	△18,476	△1,242
平成20年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	3,451	68,194	71,645	2,198	△16	8,918	11,100	238,155

## 財務諸表

北海道銀行(単体) 第88期 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表(平成20年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	92,224	預金	3,498,317
コールローン	51,001	譲渡性預金	48,193
買入金銭債権	1	借入金	40,000
商品有価証券	2,488	外国為替	79
金銭の信託	7,277	その他負債	47,566
有価証券	893,897	退職給付引当金	10,415
貸出金	2,686,873	偶発損失引当金	328
外国為替	5,643	睡眠預金払戻引当金	545
その他資産	56,507	支払承諾	28,171
有形固定資産	26,781	負債の部合計	3,673,617
無形固定資産	3,004	純資産の部	
繰延税金資産	22,828	資本金	93,524
支払承諾見返	28,171	資本剰余金	16,795
貸倒引当金	△35,834	資本準備金	16,795
		利益剰余金	57,445
		利益準備金	3,310
		その他利益剰余金	54,134
		繰越利益剰余金	54,134
		株主資本合計	167,764
		その他有価証券評価差額金	△515
		評価・換算差額等合計	△515
資産の部合計	3,840,867	純資産の部合計	167,249
		負債及び純資産の部合計	3,840,867

## 損益計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

経常収益	96,081
資金運用収益	68,693
(うち貸出金利息)	(58,253)
(うち有価証券利息配当金)	(9,408)
役員取引等収益	18,306
その他業務収益	7,178
その他経常収益	1,902
経常費用	66,607
資金調達費用	10,240
(うち預金利息)	(9,042)
役員取引等費用	6,297
その他業務費用	1,787
営業経費	39,370
その他経常費用	8,912
経常利益	29,473
特別利益	67
特別損失	1,079
税引前当期純利益	28,460
法人税、住民税及び事業税	61
法人税等調整額	10,582
当期純利益	17,815

財務諸表

## 株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
平成19年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	2,648	40,294	42,942	153,261	10,732	3	10,735	163,997
事業年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	—	662	△3,976	△3,313	△3,313	—	—	—	△3,313
当期純利益	—	—	—	—	17,815	17,815	17,815	—	—	—	17,815
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	△11,247	△3	△11,250	△11,250
事業年度中の変動額合計	—	—	—	662	13,839	14,502	14,502	△11,247	△3	△11,250	3,251
平成20年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	3,310	54,134	57,445	167,764	△515	—	△515	167,249

## 資本金・株式数・株主数

(平成20年3月末現在)

■ 資本金	70,895,000,000円
■ 発行済株式の総数	1,658,062,146株
普通株式	1,391,630,146株
第1回第1種優先株式	80,000,000株
第1回第4種優先株式	79,000,000株
第1回第5種優先株式	107,432,000株
■ 株主数	
普通株式	53,811名
第1回第1種優先株式	1名
第1回第4種優先株式	1名
第1回第5種優先株式	1,670名

## 株式のご案内

■ 決算日	毎年3月31日
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞 富山市において発行する北日本新聞 札幌市において発行する北海道新聞 <small>※決算公告については、当社ホームページ (<a href="http://www.hokuhoku-fg.co.jp/">http://www.hokuhoku-fg.co.jp/</a>)に開示いたしております。</small>
■ 証券コード	8377
■ 上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所

## 株式事務取扱場所

- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
- 事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

■ 郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
 ■ お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)

- 取次所  みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
- みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

※平成21年1月の実施に向けて準備作業が進められております「株券の電子化」についてもお問い合わせを承っております。

## お知らせ

株式関係の手続きに必要な各用紙のご請求は、  
右記にて24時間受け付けしておりますので、  
ご利用ください。

◎みずほ信託銀行 TEL : 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
FAX : 0120-111-032 (フリーダイヤル)

◎専用ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>



※“お手続内容”で一部届出用紙の出力ができます。

## 経営理念

## ほくほくフィナンシャルグループ

## ■経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、健全経営のもと、広域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、営業地域のお客さまの安心と繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

## 地域共栄

▶ 社会的使命を實踐し、地域社会とお客さまとともに発展します。

## 公正堅実

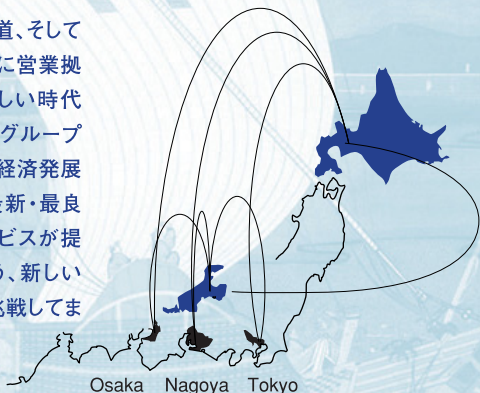
▶ 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

## 進取創造

▶ 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

## ■Hokuhoku Network

北陸と北海道、そして三大都市圏に営業拠点を持つ新しい時代の広域金融グループとして、地域経済発展のために、最新・最良の金融サービスを提供できるよう、新しいビジネスに挑戦してまいります。



## ■コーポレートマーク



垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。

## ■ホームページのご案内

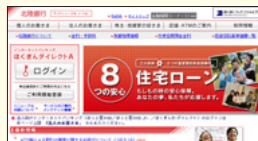
ほくほくフィナンシャルグループ <http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データやIR情報、そしてニュースリリースなど最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行 <http://www.hokugin.co.jp/>

取扱商品・サービスやキャンペーンのお知らせから店舗やATM（コンビニATMを含む）の所在地・ご利用時間まで、さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しております。



北海道銀行 <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。





## 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group, Inc.

### 株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

### 株式会社 北陸銀行 総合企画部広報グループ

〒930-8637 富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

### 株式会社 北海道銀行 経営企画部広報室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>